

2025年8月23日

安平町オーガニックフェスタ☆プレイベント
『未来につながる！
地球にやさしい食卓への旅2025』

事業報告書



作成

NPO法人めぐる
柳田ふみ

目次

- 01 ー はじめに 背景そしてテーマと目的
- 02 ー イベント概要
- 03 ー 映画上映会
- 04 ー アフタートークセッション
- 05 ー まめまめ給食弁当試食&交流会
- 06 ー 制作物（チラシ・配布資料）
- 07 ー アンケート結果
- 08 ー 終わりに 総評と課題・今後の展望
- 09 ー 資料添付・アンケート結果詳細

はじめに



背景そしてテーマと目的

安平町は、北海道で初めて「オーガニックビレッジ宣言」を行い、有機農業の推進と地域全体での持続可能な食と農のあり方を模索してきました。また、ユニセフ「日本型CFCI実践自治体」として、子どもにやさしいまちづくりにも積極的に取り組んでおり、全国的にも先進的な自治体のひとつです。

こうした背景のもと、本イベント「未来につながる！地球にやさしい食卓への旅2025」は、昨年引き続き「あびらオーガニックフェスタ」に先駆けたプレイベントとして開催されました。テーマは「食べることは生きること」。有機農業やオーガニック給食の意義を改めて見つめ直し、地域の未来を担う子どもたちのために、より豊かで持続可能な食文化を育むことを目的としています。

特に今年度は、栄養価が高く環境負荷の少ない“豆類”に注目しました。豆を活用した給食メニューや家庭料理を通じて、食材の選び方や調理の工夫が、地域の食文化をどのように支え、未来へつなげていくのかを考える機会となりました。

映画上映やトークセッション、そして「まめまめ給食弁当」の試食を通じて、食の背景にある生産者の想いや自然とのつながりを体感しながら、「食の選択が未来をつくる」という意識を広げるきっかけとなることを目指しました。

イベント概要

実施概要

■名称 『未来につながる！地球にやさしい食卓への旅 2025』

■開催日時 2025年8月23日（土）9：45～14：30

■開催場所 安平町追分公民館

■実施内容

◇映画上映会

Alice Watersのドキュメンタリー映画『食べることは生きること』を上映。
食を通じて地域や自然、未来とのつながりを見つめ直すきっかけを提供。

◇アフタートークセッション

テーマ：「食べることは生きること」

登壇者：安平町長 及川氏、教育長 井内氏、安平町有機農業推進協議会 会長 小路氏
ファシリテーター：NPO法人めぐりる 柳田双美

有機農業がもたらす地域の持続可能な未来、オーガニック給食の教育的価値、そして豆類の活用による新たな食文化の可能性について語り合う。

◇まめまめ給食弁当試食&交流会

豆を活用した有機給食メニューを試食し、栄養価や環境への配慮、味の工夫を共有。
レシピ監修：栄養士・豆料理研究家 辻本宜子氏

「まめまめクイズ」を通して、豆の魅力を楽しく学び、参加者同士の交流を行う。

■主催 安平町有機農業推進協議会

■企画運営 NPO法人めぐりる・エシカルンテさっぽろ

■協力 北海道有機農業協同組合

■後援 安平町・安平町教育委員会 (敬称略)

実施実績

■参加者数 総参加者数 114名（各コンテンツ参加者の合計・重複あり）

- ・映画上映会 40名
- ・トークセッション 35名
- ・まめまめ給食弁当試食&交流会 32名（お弁当は持ち帰り分含め60食提供）
- ・ボランティアスタッフ 7名

映 画 上 映 会

映画『食べることは生きること』の上映会には、小学生から60代まで、老若男女40名が参加しました。参加者は熱心にスクリーンに見入り、上映後には多くの感想が寄せられました。



アンケートでは、「あらためて食の大切さを感じた」、「農家の健康や命の循環を考えるきっかけになった」、「生産者の方の存在を身近に感じ、日々の食の選択を見直したい」といった声が多く聞かれました。

また、「ファーマーズファーストという言葉が心に残った」「土地を大切にする人から野菜を買うことは、国や未来を守ることにつながる」といった意見も寄せられ、映画を通して食と農、命のつながりを改めて考える場となりました。

参加者からはさらに、「調理の工夫や食材の循環を学び、日常生活で実践できることを考えたい」「子どもたちと食の大切さを共有したい」「自分にできる小さな行動から始めてみたい」といった具体的な気づきや行動意欲も多く示されました。



上映会は、世代を超えて食や農への関心を深め、地域や家庭での行動につながる貴重な機会となりました。

アフタートークセッション

トークセッションでは、映画の感想の共有に始まり、安平町における有機農業や食育の取り組み、地域循環の可能性について意見交換が行われました。



及川町長からは、有機農業やゼロカーボン、地域循環の取り組みは地域の特色を生かしながら拡大しており、今後の連携や発展が期待できることが話されました。地元食材の活用には、周知・購買・流通の課題があるものの、道の駅や交通網の活用、PR活動などで徐々に改善が進んでいるとのこと。一方で、農家の負担や流通の仕組み、農協の役割など、さらなる工夫が必要であると指摘されました。



井内教育長は、有機農業や食育の教育効果は現行の学校教育制度では優先されにくい現状があるものの、町立学校化や地域・保護者の強い連携、学校運営協議会の活用、教員の長期雇用などがあれば、理想的な教育の実現が可能であると話されました。また、学校の参観日や入学式など、保護者が集まる機会に地元食材のPRブースを設けるなど、人が集まる場での発信が有効ではないかというアイデアも出されました。



有機農業推進協議会長の小路さんは、安平町でできることを少しずつ実践し、環境づくりを進めてきたものの、まだ発展の余地があると感じていることを共有。行政関係者がこうした活動や思いに共感することで、より良い地域づくりにつながると期待を示しました。

参加者からは、地域住民が声をあげることによってさまざまな取り組みが実現していく可能性を感じた、という感想が寄せられました。町民や町外の方も農家と直接つながり購入できる機会を増やすことの重要性も話題となりました。

まめまめ給食弁当試食＆交流会

まめまめ給食弁当試食会では、豆料理専門家の辻本宜子さん監修のレシピをもとに、給食の栄養摂取基準や材料費も考慮して設計されたお弁当を提供しました。何度も試作を重ね、みずほ館でも2回の試作を実施し、その際には給食センター長や栄養士の方々にも試食していただき、ご意見を取り入れました。調理は元NPO法人ここからのメンバーであるお母さんたちが担当してくださいました。



参加者の皆さんは、栄養満点で丁寧に作られたお弁当に舌鼓を打ち、「素材や調味料にこだわり、身体にしみる味わい」「食べながら初めて会う方とも話せて楽しかった」といった声が多く寄せられ、残食はなんと、ゼロでした。



交流会では、映画の感想や、食にまつわる意見を付箋に書き、ホワイトボードに貼って共有する形式を取り入れました。共感した意見には丸シールを「いいねボタン」として貼り、ファシリテーターが参加者全員に紹介しながら、さらなる意見交換も行いました。



まめまめクイズ映像にも多くの人が足を止め、食や地域の大切さを改めて考える場となりました。



アンケート結果

アンケート調査の方法

- 期 間 2025年8月23日～9月30日
- 募集方法 インターネットGoogleフォーム
- 総 数 22件

調査結果

インターネットによるアンケートの回答数は22件でした。
参加者の年代は30代が31%、次いで40代が27%と、昨年に続き、子育て世代の方にご参加いただきました。また、10代以下が18%と、実際の会場でも若者や子どもの参加も目立ちました。
地域別では安平町からおよび札幌市からの参加が共に25%、その他の地域からの参加が50%でした。

イベントの総合的な満足度は非常に満足55%、満足が35%、合わせて90%の方に高評価をいただきました。
それぞれのコンテンツや全体への感想、ご意見も多く寄せられ、今後の活動の参考となる貴重なフィードバックとなりました。

「機能的・経済的合理性から距離を置く生き方への共感」「行政や教育現場が有機農業について真剣に語る姿が印象的だった」などの感想が寄せられ、安平町での取り組みが全国的にも注目されるべき動きであると感じた参加者が多く見られました。

「お弁当がとても美味しかった」「お豆がこんなにおいしくなるとは」といった声も多く、参加者同士の交流も好評でした。
一方で、「時間に余裕がほしい」「より多様な層にも参加してほしい」などの意見もあり、これらの声を今後の事業計画に反映してまいります。

終わりに

総評と課題

今年度の事業に関わってくださったすべての皆様に心から感謝申し上げます。

本事業は「食べることは生きること」をテーマに、映画上映会、トークセッション、そしてまめまめ給食弁当試食&交流会などを通じて、食といのち、地域と子どもの未来について考える機会となりました。

それぞれのプログラムでは、農業・教育・行政・家庭といった多様な立場から意見が交わされ、安平町が目指す「オーガニックビレッジ」や「子どもにやさしいまちづくり」の理念が、地域の中で少しずつ形になりつつあることを実感できました。

また、地域住民や保護者の声が町を動かす大きな力になるのだという理解も深まり、町全体で子どもたちの未来を支えていく意識が広がりました。

同時に、地元食材の流通体制や学校給食への導入、農業者との連携など、今後に向けた課題も明確になりました。こうした課題に対しては、関係者が対話を重ね、地域に合った方法で丁寧に取り組んでいくことが重要です。

今後の展望

今後は、今年度の成果を活かしながら、これまであまり関心を持たれてこなかった層にもアプローチできるよう、イベントの内容や実施形態を工夫していく予定です。

農業者や教育関係者、地域住民の皆さんと協働し、子どもたちが食や農を通して「生きる力」を育む学びの場を広げていくことで、安平町ならではの“やさしい循環”が息づく地域づくりに貢献してまいります。



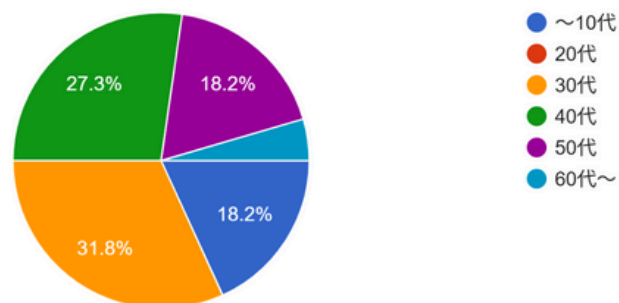
添付資料

アンケート結果詳細

アンケート結果詳細①

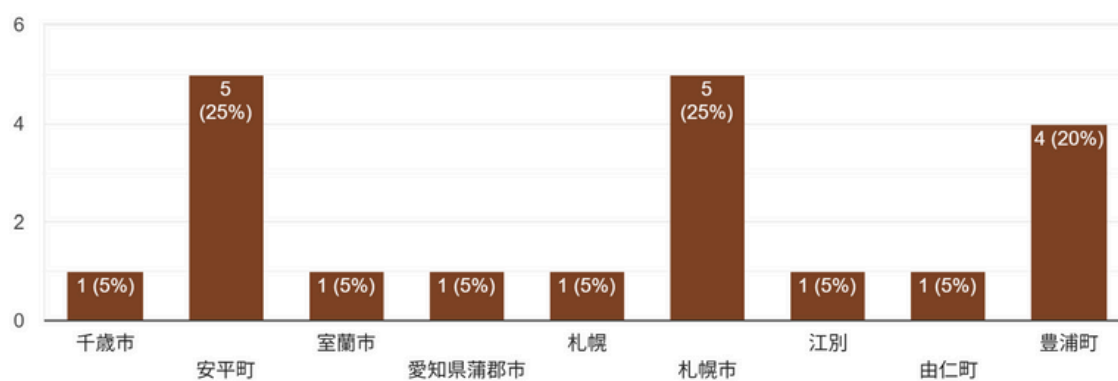
Q1.年代をおしえてください

22 件の回答



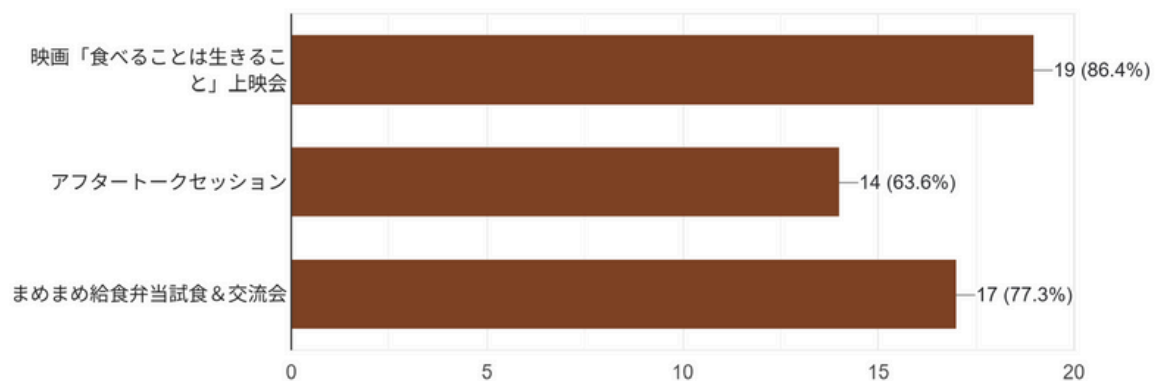
Q2.お住いの地域（市町村）

20 件の回答



Q3.参加したコンテンツにチェックを入れてください。

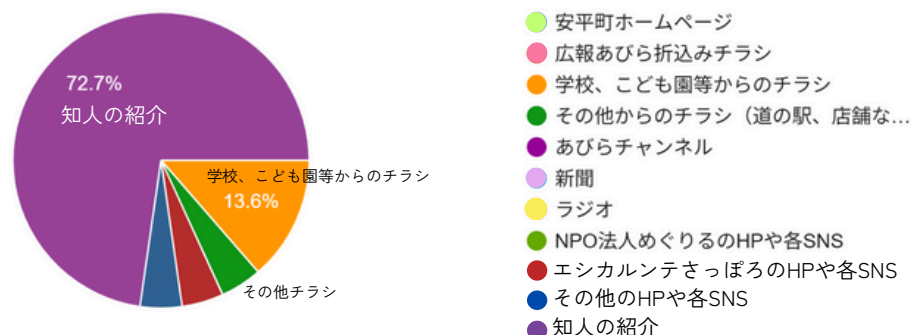
22 件の回答



アンケート結果詳細②

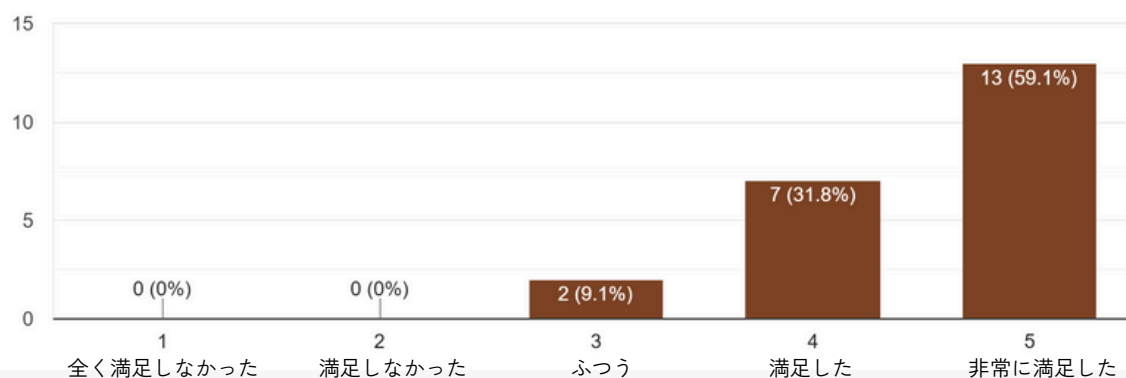
Q4.今回のイベントが開催されることを何から見聞きして知りましたか。

22 件の回答

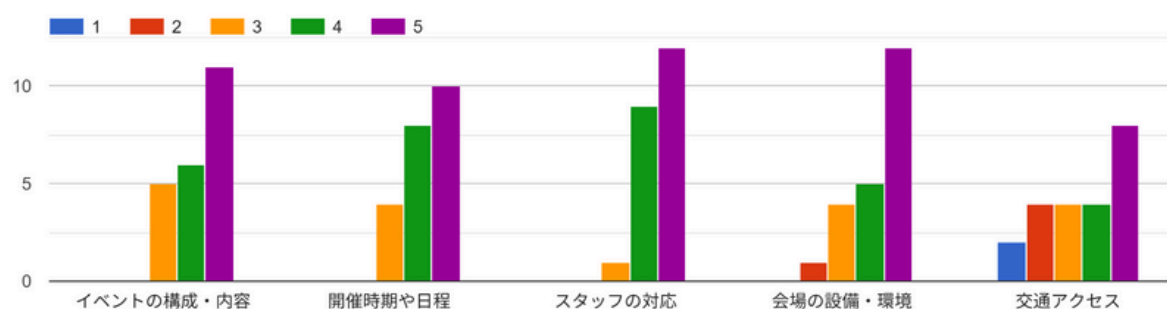


Q5.このイベントの総合的な満足度を5段階評価でお聞かせください。

22 件の回答



Q6.このイベントの各項目の満足度を5段階評価でお聞かせください。



アンケート結果詳細③

Q7.『映画「食べることは生きること」上映会』に参加された方は、心に残ったことなど、感想をお聞かせください。

17件の回答

- ・あらためて食の大切さを感じました
- ・生産者ファースト、と言う言葉が心に残りました。
- ・日常や習慣を見直すことで人生の豊かさが変化していくこと。その中でも食はかけがえのないものなので、一つ一つを見直したいと感じた。忙しいと適当な食事をつい摂りがちで、余計に疲れてるのかもしれないと思った。美味しくて栄養のあるものを食べたら自然と気分良く過ごせるよなーと思った。
- ・全編通して、感動しました。アリスの口調がとても優しく、「ファーマーズファースト」というワードを何度も口にしており、心に残りました。オーガニックの母と言われるアリスが、「日本」のことをとても評価してくださっていて嬉しかった。気候変動を止め、健康を支えてくれるオーガニック農家さんを「学校」で応援したい、と言っていることにとても共感します。土地の健康を守る人(オーガニック農家)から野菜を買うことは、国の未来を守ることに繋がる。生産者さんこそが「土地の守り手」。とおっしゃっていて、全有機農家さん全員が勇気をもらえるような、素晴らしい言葉だと思いました。オーガニックに興味がない人にこそ観てほしい。素晴らしいドキュメンタリーでした。
- ・地元の農家さんを応援したくなりました。
- ・土作りの大切さや循環、調理の工夫等含めて、関わる全ての皆さんの意識が共に共鳴し合っている事。個人レベルには限界があるけれどもコミュニティを作る事で一人一人の負荷を少なくし実現化が可能な事。子供達の教育から全てに於いて抜け目ない事。
- ・自分に出来ることを、小さなことでもいいから行動していきたいと強く思えた。

アンケート結果詳細④

Q7.回答続き

・アリスがローカルでオーガニックでとにかくReal foodを味わって欲しくて、広めたくて様々な取り組みをしてきたこと、本当に刺激を受けました。本当の食べ物を食べること、単に空腹感を満たすのではなく味わい楽しむ食事の時間を楽しむことを日常の中で大切にすることで、1日1日をもっと豊かにしていきたいと思いました。そして、家族や子供たちとそんな考えを共有し、理解をしてもらうことで、一緒にその時間を大切にしていきたいと思いました。

・ファーマーファーストという言葉が印象的だった

・人の価値観は色々だと思った

・とても共感しました。

・美しさを大切にされている生き方は素敵でうらやましく感じました。

・一度この映画を見たいと思っていました。感じたこと→もう「地産地消」や「スローフード」とか自治体にいた時（20年以上前）にも、著名人呼んだりしてイベント開催して啓蒙・普及してきた（つもり）けど、結局、自分たちの住む世界が温暖化・戦争・政治の軋轢など、マイナスの要素がこれだけハッキリ大きくなってきているのに、何かしら対応して生活できてしまっているの、考えていることと行動が一致しない。どの時点でリセットに係るのか。おっしゃる通り、先人や私達のつけを後回しにする罪悪感は子供たちの姿を見ると強くなる。

・主役の方のファーマーズファーストの信念を貫いていて、すごいと思った

アンケート結果詳細⑤

Q7.回答続き

・家族と一緒にみたい映画だなと感じました。農家さんのお仕事が、本当にありがたく、命を育む素晴らしいお仕事だと感じました。印象に残ったのは、見栄えの良くない野菜もいかにおいしく調理するのが料理人の仕事だという言葉です。本当にその通りだなと思いました。見られてよかったです。そしてまた自分の大切な方とまた観たいです。

・いろいろなことを考えました。生産と消費を顔の見える範囲でできれば理想ですが、それが進まないのはなぜだろうかってこと。大きな働きでなくとも、一人一人にできることはあるということ。オーガニック給食が進んでほしいなってこと。など。

・アリス・ウォーターさんのメッセージが強く伝わってくる、良い映画でした。

Q8.『アフタートークセッション』に参加された方は、心に残ったことなど、感想をお聞かせください。

12件の回答

・いかに経済合理性、昨日合理性を求めない生活にするか、という井内さんの言葉と考えが素敵でした。

・井内先生と小路さんの話がとても興味深かった。子どもたちの未来をリアルに考えているからこそ、白熱した議論で、大変頷きの多いお話でした。機能合理性と経済合理性からの脱却、はどの分野でもすでに限界を迎えていると感じています。だからこそ昨今の選挙結果にも現れている気もしているけれど。各分野からうまく調和しながら、合理性や生産性だけの中には見つけることができない、「無駄」の中にこそある美しさや命の素晴らしさを改めて感じられるような、生活がしたいと感じました。

Q8.回答続き

- ・普段なかなかお話を伺うことのできない方々のお話を拝聴できて勉強になりました。
- ・公的機関が如何に壁を高くしているかを感じる事。
- ・園バスが農村地帯の子どもたちをピックアップすることを利用して、農家さんから野菜を買う、という話がありました。直売所を設けている農家さんもありますが、少ないように思うので、町民や町外の人でも農家さんと直接繋がって野菜などが買うことのできる機会が増えるといいなと思いながら聞いていました。
- ・行政教育の方々が有機農業について話されている事が印象的だった
- ・身体に良いかどうかじゃなく、本物の味を親から受け継ぎ子へ体験させていくと、一度は市販の物を食べる生活をして、結果美味しくないと思えば本物の味に戻る結果がたまたまオーガニックや自然栽培だったりするなあと。学校や市ではなく結局は親だと思いました。良い町長さんですね。
- ・教育長の熱量やキャラクターが印象的でした。
- ・農業のこと、教育のこと、行政のこと。いい話していたと思う。多くの町民に聞いて欲しいと思った。
- ・井内さんの言っていた、学校は機能的効率性から少し距離を置かなければいけないのでは、というのが心に残りました。
- ・町長、教育長の考えがわかりました。地域住民から声をあげていくことによって、いろんなことが実現していくのかな、と思います。

アンケート結果詳細⑦

Q9.『まめまめ給食弁当試食&交流会』に参加された方は、心に残ったことなど、感想をお聞かせください。

15件の回答

- ・お弁当がとても優しい味で美味しかったです。素材、調味料にもこだわっていて、身体にしみるお弁当でした。
- ・栄養たっぷりでした！
- ・素材が活かされており、味付けのバランスも良く美味しくいただきました。
- ・お弁当とお味噌汁までついて、豪華でした！託児も無料で、こどもはお友達を作ったようで、私はイベントに集中できて、大満足な1日でした。お弁当500円～1000円でも良かったと思います！300円は利益になったのかな？とめっちゃ心配！作ってくれた方やスタッフさんたちへ、少しでも還元されてほしいなと思いました！
- ・お弁当がとにかく美味しかったです！！真似して作らせていただきます！
- ・豊浦町から離れたところで共通の友人、知人がいた事。新たな出会いがあった事。未来に向けて今自分が出来る事を考えるきっかけになった事。
- ・弁当試食のみ。BOXの、見た目は一見地味な気がしましたが、とにかく一つ一つが美味しくて、しかも見た目に反してお腹いっぱいになりました！食材から素敵な生産者さんたちの波動に触れて、心もいっぱいになりました。
- ・まめまめ給食弁当とっても美味しくいただきました。食に関心のある方が集まったイベントで、同じテーブルの方たちと楽しくお話ししながら食べることができたことも嬉しかったです。給食価格とはいえ、このクオリティで300円は安すぎです。

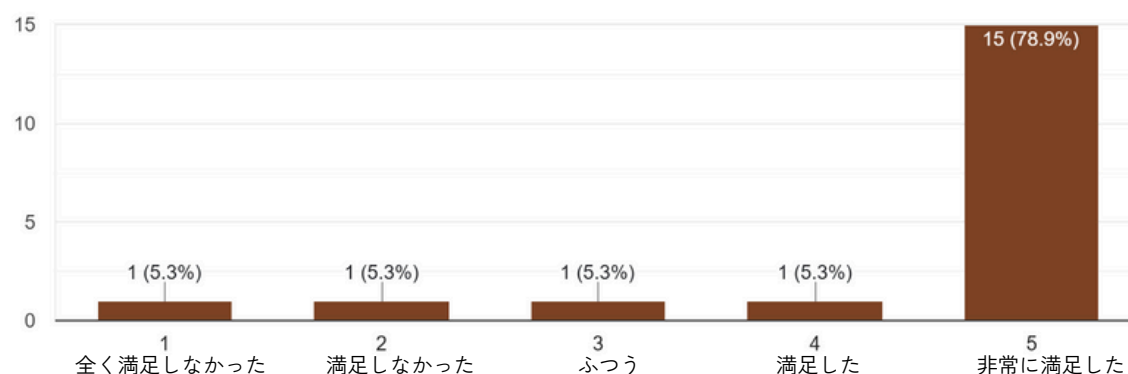
Q9.回答続き

- ・お豆がこんなに美味しくなるとは思った。
- ・とても美味しかったです。スタッフの方々も良い方々でした。
- ・お弁当美味しかった。説明書きも見て楽しかった。実際に売るといくらだろうと思った（スープ付きで750円）。テーブルを囲んで様々な方の意見について、否定することなく話し合える場は貴重。多くの町民もいつか積極的に参加されるようになるといいのに。本当に難しいと思いますが。それなりに質と量が満足できる生活がきていれば良いという60歳以上の方も参加して欲しいよね。
- ・全て北海道のものを使用して、美味しかった
- ・自由に感想をシェアできてよかったです。
- ・お弁当は、とてもおいしかったです。初めてお会いする方々ともお話しすることができて、とても良かったです。
- ・塩加減が少なすぎて美味しさを引き出せていないと感じました。
- ・とても美味しかったです。これだけの栄養とボリュームが給食になれば、栄養も満足度も素晴らしいなと思いました。間食(おやつも)も減りそうですし、何より働いている方、身体が弱い方、バランスのとれた料理を作るのが難しい方など、沢山の家庭を支えられる給食になると実感しました。ご馳走様でした

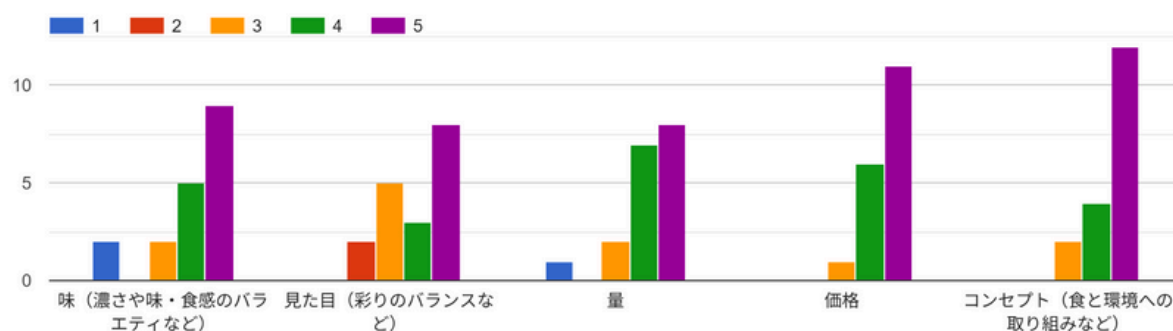
アンケート結果詳細⑨

Q10. まめまめ給食弁当を召し上がった方は、お弁...総合的な満足度を5段階評価でお聞かせください。

19件の回答

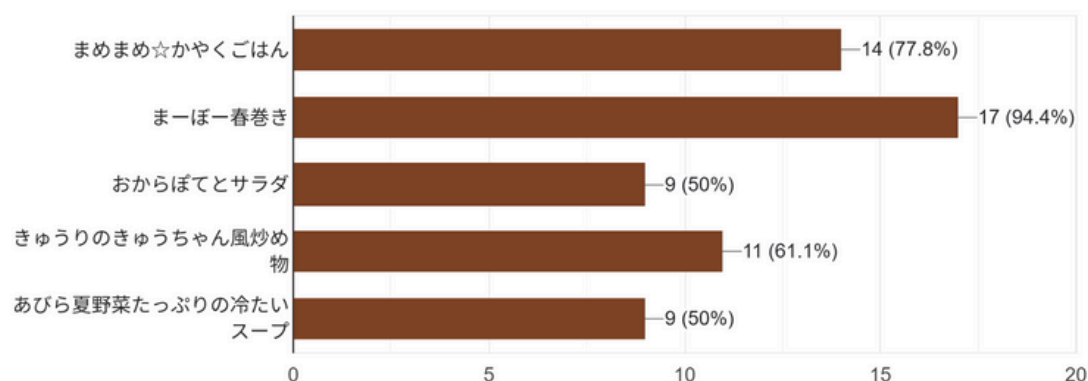


Q11. 今回のお弁当の各項目の満足度を5段階評価でお聞かせください。



Q12. 美味しく感じたお料理を教えてください。（複数回答可）

18件の回答



アンケート結果詳細 ⑩

Q13.その他お気づきの点がありましたらご記入ください。

9件の回答

・このようなイベントを開催していただきありがとうございました。
主催された方、安平町、参加された方々に感謝です。もっと多くの方に参加して欲しかったですが、井内さんが言われた通り、集客って難しいですね👉柳田さんの活動がぜひ今後も継続できますように。
安平町最高です。

・準備から開催までお疲れ様でした！音声トラブルも一生懸命に対応されていて、がんばれ～！の気持ちでいっぱいでした！結果、助けてもらえて良かったですね！また安平町にきたいな！と思いました。

・音響トラブルの際ケーブルを差し抜きする時、ミキサーの電源を落とした方が良いかと思います。スピーカーの故障につながりますので！

・この様な内容に、そもそもそんなに興味持って意識していない人たちにこそ、参加して知って欲しい内容なので、その様な人たちを、取り込めるような内容、プログラム等があったら嬉しいです！ありがとうございました。またよろしくお願いします。

・参加される方の関心の度合いは異なると思いますので、中立的な立場で進行される方が良いかと思いました。

・お疲れさまでした。次回も期待しています。

・深い気づきがある映画でした。この映画を見れて良かったです。ありがとうございました。

・きゅうりのきゅうちゃん風やおから炊き込みは、季節や時間によって、酸味も少し感じて、ギリギリになる場合もあるかも？今回は、美味しくいただきました。大変満足です